

KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.633

2014.11・12 Nov・Dec

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケ信徒への手紙 一 5:16~18)

オープン1ヶ月のファミリーウエルネスセンターから

多くの方のお祈りとお支え、願いにより9月にグランドオープンした神戸YMCAファミリーウエルネスセンターは毎朝、入館を待ちわびて並んでくださっている会員の方々と、元気に登園してくる子どもたちとの『おはよう!』という大きな声で挨拶を交わすところからスタートとなってきました。

ファミリーウエルネスセンターではこのように『ウエルネス事業』・『児童福祉事業』・『高齢者事業』の3つの柱を軸に多様な社会の中で、子どもから大人、また高齢者の方に至るまで、相互のいのちが共鳴し合い、尊重し合い、共に歩む中で『ファミリー』を感じる施設を目指しています。そのひとつである児童発達支援『タンポポくらぶ』は三宮会館で長年蓄積されてきたノウハウを継承し、未就園児を対象に10名のこどもたちが充実した運動プログラムの体験と、プレイルームでの創作遊び等を通して、個性や発達の状況に寄り添いながら、小集団での生活を体験していく場として展開しています。また新たに始まった高齢者の方を対象にした『YMCAデイサービスふつとぷりんと』も少人数で短時間での介護予防、運動リハビリ特化型プログラムを通して、お一人おひと

りのチャレンジに寄り添う活動が展開されています。いずれも来館された方々が、多世代、多文化の中で声を掛け合い、共に活動をし、そして笑顔で帰っていただくこと、そのきっかけになっていくことが、我々スタッフの喜びです。

三宮会館で紡いできた歴史に比べれば、まだまだその一歩を踏み出したばかりのファミリーウエルネスセンターですが、会館内外での交わりの中でいのちの輝きを相互に感じる施設としてこの地域で与えられた使命を果たして行くことをめざします。



YMCAデイサービスふつとぷりんと



児童発達支援神戸YMCAタンポポくらぶ

YMCA会員からのメッセージ

宮川さんのYMCAイメージは?

健康の為に運動の機会を大事にしていますが、『楽しい』がないと長続きしないと思っています。YMCAには様々な運動の機会に加え、その『楽しい』雰囲気を会員・スタッフが一緒に作り出していることが好きなおところ。また会員の方の中で20年後に自分もあのような会員になりたいなという目標となる方がおられ、私自身もその人に近づけるよう、笑顔で会員の方向士を名前呼び合えることを大切にしています。

ファミリーウエルネスセンターのイメージは?

三宮で運動を共にしてきた方々と続けて活動できることはもちろん、新しい会員の方も増えて活気がありますね。プログラムも種類が増え、毎日が楽しみです。何より子どもの声が会館に沢山溢れていることや若い会員の方も増えていること、そして高齢者の方も共に活動している姿を目の当たりにすることで、会館の中に人間のライフサイクルが凝縮されていることが素晴らしいですね。

これからの目標は?

大先輩の会員の方をめぐし、毎日運動を楽しむ中で、結果的に年間医療費ゼロ(笑)となるよう、運動と出会いと笑顔で免疫力アップし、心と身体と精神をファミリーウエルネスセンターで輝かせていきます!



ありがとうございました。

ウエルネスセンター三宮会員から9月オープンしたファミリーウエルネスセンター会員と20年近くウエルネスライフを続けておられる会員の「宮川雅代」さんにインタビューさせていただきました。

未来への提言

ファミリーウエルネスセンター建設を終えて2013年11月15日(金)にファミリーウエルネスセンターの起工礼拝が現地で行われました。あれから8か月半、短かい工期で敷地いっぱいに建物が建設され難しい工事でしたが、神戸YMCA様のスタッフの皆様の「熱意、誠意、創意」のもと無事故・無災害で平成26年7月末に竣工することが出来ました。本当にありがとうございました。

工事期間を通して感じましたことは、建物の物決めに対し非常に前向きに熱心であったことです。特に尾上常勤理事と小寺所長には定例等でご苦勞をお掛けしました。1階ホールのヒストリー展示については工期終盤まで議論を重ね、間に合うのか不安でしたが立派なヒストリー展示となりました。また、1週間に1回、2回は現場を視に來られ上から下まで隅々まで進捗状況を確認していただきました。解らないことや疑問点につきましては、納得できるまで質問されていたのを思い出します。6月頭の2階プール搬入時には、水野総主事が來られました。自分の目でどのようにプールの部材が搬入されているのか現物を視て確かめられました。

私は現場運営の中で「3現主義を確実に行う」をモットーにしています。3現主義というのは「現場で、現物を見て物事を行う」ということです。この3現主義が神戸YMCA様にはしっかりと出来ていたと思います。

ファミリーウエルネスセンターの風除室の定礎板には、「Thessalonians 5:16-18」と記されています。2014年度の年間聖句である「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」この建物を造り上げたのは協力会社の多くの職人さんです。一人ひとりが「ひとつひとつ心を込めた物作り」の思いで造り上げました。工期終盤のある日の朝礼で、上記のテサロニケの信徒への手紙を説明しましたら、疲れていた職人さんの目が輝きだしたのには感動しました。

8月30日(土)の献館式では、厳しい工事でしたが多くの神戸YMCAの皆様のご支援を受けて無事に完工して幸せであったと感無量でした。

今後は、ファミリーウエルネスセンターが神戸YMCA様の知恵とご尽力により、地域の皆様に未永く愛されて、ますます貢献し続けていただくことを希望いたします。

鹿島建設株式会社 関西支店
神戸YMCA協賛工事事務所所長

岩田和弘

ホテル学科50周年に寄せて⑦

「旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。」(新約聖書ヘブライ人への手紙13:2)



神戸YMCAホテル学校、現在の神戸YMCA学院専門学校ホテル学科が設立50周年のときを迎えることとなりました。この学校がホテルマン養成のために半世紀にわたり役割を果たすことができましたことを心から喜ぶと共に、この長い年月をお支えくださったホテル業界の皆様、また講師・教職員の皆様に厚く感謝申し上げます。そして、何よりもこの学校を卒業され、YMCA卒業生としての誇りを堅持し、業界で実績を残され、また今尚、懸命に働いておられる皆様に敬意を表するものです。

神戸YMCAホテル学校は1964年の創立ですが、その前年に日本ホテル協会兵庫支部から神戸YMCAにホテルマン養成の依頼があったことが設立の契機となっています。この50年の間、日本は高度経済成長とバブル崩壊、また1995年には阪神淡路大震災がありました。また、近年ではリーマンショックや東日本大震災など、激動の50年間を業界の皆様と共に過ごしてきました。しかし、いつの世も人は西に東に移ろい動くもので、異郷の地では宿を必要とし、宿にはサーブする者が求められます。聖書が記された2000年前の世でも「旅人をもてなす」というホスピタリティの大切さが謳われています。そのホスピタリティは、単に旅行者一人一人をもてなすことにとどまらず、気づかずに「天使たち」をもてなしているのですよ、という教えを伝えています。私たちは相対している、目に見えている「お客様」という相手に対して、おもてなしをしています。実はそこには目に見えない「相手」があるということを示唆しています。つまり、それが「心からのおもてなし」ということではないでしょうか。

神戸YMCAホテル学校はおもてなしの形だけを教えてきたのではなく、その心を教える学校ではなかったかと信じます。平素のご支援に感謝しつつ、これからもまた多くの在籍生、卒業生を温かく迎えてくださいますように心からお願いいたします。神戸YMCA学院専門学校 校長 水野雄二

新会館建築募金

(前号掲載以降～9/30現在)

島田恒、橋本正晴・和子、中田一夫、酒井哲雄、阿部典穂、正野隆士、吉井宏一郎、(株)ウイング、サンヨー環境(株)代表取締役 長内建佑、加藤明宏、西宮ワイズメンズクラブ、(公財)神戸市スポーツ教育協会会長 植月正章、今井鎮雄、金秀男、不二熱学サービス(株)代表取締役社長 近藤康之、松田道子、小野昌二・里佳、八杉光春、大木素行、中坂律子、齊藤靖、宗行孝之介、秋田正人、岩井義矢、芦屋ワイズメンズクラブ、原寛、遠藤梧郎・宏子、多胡葉子、本田淳代、中嶋知子、大津創、長井慎吾・多美子、川崎孝子、渡邊厚子、井手久代、北居恵津子、今西時子、エム・シーシー食品株式会社、水垣宏隆、野田和人、熊谷郁子、谷紳一・貴子、鉢方志郎、米田准三、渡邊春夫、坂本裕之、佃治子、城純一、鹿島建設(株)押味至一、あいおいニッセイ同和損保、いなみ野学園有志、岩政陽子、汐碓直美、座古谷光夫、松本文男、松本美耶子、岡本尚史、(株)長谷工コーポレーション、塚本潤一、丹羽和子、浜野昌保 (敬称略 順不同)

テントを寄贈いただきました

日本宝くじ協会より、須磨ランチ、YMCA保育園、西神戸ランチにテントを寄贈いただきました。

そのテントを利用し、西神戸では、地域の祭りである「学園夏まつり」に、YMCAのブースとして「体組成測定」「握力測定」を出店しました。「体組成測定」では、普段健康を意識することが少ない中高年世代を中心に測定とアドバイスをを行い、健康を考える良い機会となりました。また「握力測定」はゲーム感覚で実施し、子どもたちとの良いコミュニケーションの場となりました。



保育園



西宮つとがわYMCA保育園は、開園3年目を迎え、現在68名の子どもたちが元気に登園して来ています。

施設の中には、2歳から5歳までの子どもたちが昼食やおやつを食べるランチルームがあります。そして、このランチルームからは調理室の中の様子を見ることができ、毎日栄養士の先生たちがお昼ごはんやおやつを作っている姿を見たり、作っている音を聞いたり、また、ただよってくるおいしそうな匂いを嗅いだり…。「あっカレーのにおいする!」「やったー! 今日カレーや」などと、子どもたちは五感で感じ、毎日の食事やおやつを楽しみにしています。また、食育として栄養士の先生から食事のマナーを聞いたり、旬の野菜を見せてもらったり、幼児クラスの子どもたちは、クッキングも行っています。エプロン、三角巾、マスクをつけていつもより時間をかけて丁寧に手を洗い「さあ、作るぞ!」という子どもたちの眼はキラキラと輝いています。食べるだけでなく、「食」に関する様々なことに関心や意欲をいっぱい持ち、すくすくと成長して行って欲しいと願っています。そして、保育園は子どもたちが毎日3回食べる食事の1回を作っているということの責任をしっかりと受け止め、これからも安全で安心できる食材を使って昼食、おやつを作っていきたいと思っています。



幼稚園



神戸YMCAちとせ幼稚園では2学期の始業式から2週間で運動会の日がやってきます。「2週間で運動会は早くないですか?」と言う声も聞きます。YMCAの幼稚園では日ごろから体を動かす楽しさを共有できることを大切にしているので運動会のための練習というのは特にしていません。日頃から子どもたちの心がワクワクし、もっとしたいと思えるような声かけを心掛けています。年長組はパラバルーンをしました。今年のテーマは、幼稚園にツバメが飛んできて巣を作り、大きく羽を広げて飛ぶ姿をみんなで見、そんな体験からイメージが深まりました。そしてツバメの子どもが大きく巣立っていくというストーリーの中で主体的に体を動かし、心を合わせる喜びに繋がりました。当日の競技・演技を上手に行おうとするのではなく、その過程を大切に、一人ひとりが与えられた力を発揮して、のびのびと自分を表現できるように願ってこの運動会は行われました。



運動会の後、しばらく姿を見せずもう南の島へ帰ってしまったと思っていたツバメが大群で幼稚園に姿を見せました。「もうすぐ南の島に帰るからバイバイって来たのかな?」と子どもたちは大興奮!!手を振ってお別れの挨拶をしました。

感謝・寄付
(敬称略)
【パレスチナ・ガザ地区 緊急支援募金】
ロニー・アレキサンダー
コストコホールセール・ジャパン
卓球台3台

表彰

山口徹さんが、2期8年の兵庫県教育委員としての任を終われ、この度、文部科学大臣表彰「地方教育行政功労」を、10月21日受けられました。

学童保育



神戸YMCA須磨センターの学童保育の子どもたちは高倉台小学校の子どもたち1年生から3年生までが55人、夏休みが終わり、たくさんの高学年のお友だちが退所していききましたが、それでも全員合わせて1年生から6年生まで64人の小学生が在籍しています。

学童の子どもたちは、神戸YMCAちとせ幼稚園の保育室や教室を借りて過ごしています。したがって、幼稚園の園児たちが降園した放課後は幼稚園の預かり保育(プレクラブ)の園児たちと学童保育の小学生が一つの施設の中で一緒にになります。ここでは年少児(3歳児)～小学校6年生までが様々な場面で何かしらの関わりを持ちながら過ごす環境となります。幼児さんたちは小学生のお兄ちゃんのお姉ちゃんとの遊びに大いに刺激を受け、何とかまねをしようしたり、また、小学生たちは、まだ小さい子どもたちの未熟なところの面倒を見る場面があったり、そこには昨今失われつつある異年齢の子ども同士の関係がたくさん見られます。

先日、小学校の運動会の代休日、運動会で発表した1.2年生の演技、きゃりーぱみゅぱみゅの「インベダー、インベダー」を幼稚園のお友達の前で披露してくれました。そのあとは小学生、幼稚園児みんなで入り交じって「インベダー、インベダー」を踊りました。笑顔いっぱいの交流となりました。



かけがえのない いのちと平和

～YMCA国際協力募金～

今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました。YMCA国際協力募金は、世界119の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、すべての人々が国・民族・宗教の違いを超え、平和にいきいきと暮らすことができる世界を創り出すための国際協力・国際奉仕活動に用いられています。YMCAでは日々の諸活動をとおして、YMCAの願いを実現するために、人々の豊かな成長を願い、地域に根ざした様々な活動を行っています。神戸YMCAでも「すべてのいのちが光り輝くように」と願い、とりわけ子どもや若者が未来に夢や希望をもち全人的に成長することを目的として「人といのちを育む」活動を展開しています。私たちは国内外の平和が脅かされていることを、テレビや新聞などの報道から、また世界のYMCAネットワークから学びます。貧困・災害・紛争など、今もなお困難な生活を強いられている人たちひとりひとりが安心して暮らせる平和な社会を、私たちはどのように創ることができるのでしょうか。世界を見つめ、地域で活動するYMCAは、そこにいる人々とともに「本当に必要な活動は何か」「自分たちにできることは何か」を一緒に考え、平和に繋がる活動を行っています。神戸YMCA国際協力募金全体として次のような目的のために用いられています。



2014年度 募金目標3,768千円

拠出予定 (東日本大震災復興支援募金は含まれません)

- ◎アジアの農村支援・青少年育成のため 1,300千円
- ◎アフガン・パレスチナ難民支援 118千円
- ◎海外からの日本語学習者支援 240千円
- ◎国内外の国際分野における指導者育成 980千円
- ◎国内外の災害緊急支援 400千円
- ◎エイズ・プロジェクト 30千円
- ◎日本YMCA同盟拠出金・事務局経費 700千円

どうぞ今年もYMCA国際協力募金にご理解とご協力をお願い申し上げます。

YMCAの願い

YMCAでは活動を通して次のことを学びます。
 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
 「家族、地域のひとりとして責任があること」
 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
 「すこやかな心と身体を育むこと」

YMCAでは、これらを実現するために「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」をすべての場面で大切にしています。

ソナタ 奏鳴曲 No.66



総理事 水野雄二

1945年、1995年、そしてクリスマス

2014年のカレンダーが残り少なくなり、最後の一枚にはクリスマスの写真があって、思わず年の瀬を感じさせる季節を迎えました。神戸YMCAにおいても様々なクリスマスをお祝いする集会やプログラムが計画され、大人も子どもも楽しい時を過ごします。

「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。」クリスマスに読まれる聖句は、イエスの誕生を光の到来と表現しています。世の闇を切り裂く「光」としてのイエス誕生、これがクリスマスです。イエスが切り裂いた「闇」とは何でしょうか。「平和が脅かされる世界」と言ってもよいのではないかと思います。現代社会に生きてみると、滅多に真っ暗な闇を体験することがありません。どこかで灯りが漏れているものですが、私は2度、この漆黒の闇を体験しました。

1995年、まもなく20年を迎えるこの年、私たちは阪神淡路大震災を体験しました。ライフラインが止まった都会で、すべての電気が消えた夜に自転車でYMCAから帰る道、私は改めて「闇」の怖さを感じました。単に暗いだけでなく、身の危険や生活の不安やどこに向かって自転車をこぐのかわからない惑いの中に身震いする恐ろしさを感じたものです。そして、2015年は太平洋戦争終結から70年。敗戦から70年です。以前、沖縄を訪ねた時、案内された「ガマ」(洞窟)で、深い闇を体験しました。ガマに入って懐中電灯を消すと、隣の人が誰かもわからない真っ暗闇でした。1945年の沖縄戦で、この中で戦火を逃れた人々が集まり生きようとしたのです。そして、多くの人がそこでも生き延びることができなかった…。そんな漆黒の闇でした。

戦争、自然災害、これらは深い「闇」を与えます。今もなお、多くの人が闇の中にいることを覚えます。世界に広がる深い闇をクリスマスの光が切り裂くことを願わずにはおれません。皆さんにも、メリー・クリスマス！

ニュース 11月15日号 37

シアトルYMCA研修を終えて

9月1日〜12日までの12日間、私はアメリカのシアトルYMCAでスタッフ研修を受けてきました。研修内容はウエルネス事業のプログラム、運営についてです。シアトルへ出発する前は、このような貴重な経験ができることをとても感謝するともに、極度の緊張と不安にかられました。出発当日、ファミリーウエルネスセンターの献館式に来ていただいていた、シアトルYMCA元副総理事のトム・ホースレーさんと一緒に国際空港に向かいました。道中、トムさんに「私はアメリカに行くのは初めてで、英語もうまく話せないのでも緊張します。」と伝えるとトムさんは「私も初めて日本に来た時はあなたのようにとても緊張したよ。だけど神戸YMCAのスタッフがとても親切にしてくれて、今では神戸でたくさん仲間で感謝しているよ。だからシアトルYMCAのスタッフもあなたを快く受け入れてくれるよ。そしてたくさん仲間でできるよ。」と言ってくださった。そのトムさんの言葉通りでした。現地ではホームステイでお世話になったファミリー、研修対応してくださった、たくさんスタッフのみなさんが遠くアジアの小さな島国から来た見ず知らずの私を何の疑いもなく信頼してくださりました。快く受け入れてくださりました。

研修はすべて英語でのコミュニケーションの中、相手の言葉をうまく聞き取れないこと、伝えたいことをうまく伝えられないことが多々あり、苦労する場面もたくさんありましたが、一番掛けていただいた言葉は、great, good, excellent, coolと肯定的な言葉ばかりでした。その環境の中で徐々に失敗を恐れずに自分の気持ちを素直に伝えようとする自分がいました。

今回の研修で6つほどのランチを訪れましたが、行くところと行くところで「神戸YMCAのあのスタッフは元気か。」「エクスチェンジのプログラムで私の家にホームステイした彼はどうしている？」と尋ねられました。神戸YMCAとシアトルYMCAの関係性は本当にたくさんの人たちの関わりの中で、隣人を愛するYMCAの精神のもとで築き上げてきたのだと肌で感じました。帰りの飛行機の中ではエクスチェンジプログラムに参加した中高生は私と同じように温かい気持ちで帰国したのだらうと思えました。そんな若者が日本でどう人生を歩んでいくか楽しみです。今私がすべきことはたくさんの人に経験を伝えることと、次世代にこのシアトルYMCAとの良き関係をつなげることだと感じています。



- ファミリーウエルネスセンター ☎078 (241) 7202
- YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
- ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
- 専門学校 ☎078 (241) 7203
- 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
- 三田YMCA ☎079 (559) 0075
- 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
- デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216
- 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
- ウエルネスセンター-学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

- 西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
- 西神南YMCA ☎078 (993) 1560
- 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
- YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
- 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
- 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
- YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
- 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
- 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

神戸YMCA ウィンターキャンプへ行こう!!

(スキー&雪遊び キャンプ)

日本で「キャンプ」が初めて行なわれたのは、YMCAが六甲山で行なったものです。1920年7月に六甲山麓で、教育的組織キャンプを行なったのが、日本で最初のキャンプです。YMCAが子どもたちの全人的な成長を願い、キャンプを社会教育プログラムとして取り組み始めて、今年で何と94年目！ 東京オリンピックが行なわれる2020年には「YMCAキャンプ100年」を迎えます。

この冬には、神戸YMCAでは、ウィンタープログラムとして、スキーキャンプや雪あそびキャンプを実施いたします。日頃的生活環境から飛び出して、自然に触れ、人と交わり、これから育っていく子どもたちが、よりよい生き方をするための土台を身につけることを心より願っています。大学生を中心とする多くのボランティアが子どもたちに寄り添い、キャンプを共にします。冬の厳しい自然に対峙すること、そして初めて挑戦するスキーや、お友達やリーダーとの生活は、子どもたちをさらに大きくします。キャンプスタッフ、リーダーで、たくさんのお友達がご参加してくださることを楽しみにしています！



【神戸YMCAウィンタープログラム受付】

- 11/7 (金) 10:00～ ウェブ受付開始！
- 11/12 (水) 12:00～ 電話受付開始！



International Camp Counselor Program in Japan

今年もICCPJ(台湾YMCAから日本YMCAでの野外活動研修等)で、台湾から二名のリーダー高乙仙(Kao, I-Hsien)さん、陳資旻(Chen, Zih-Min)さんが、約一か月、余島にやってきました。やさしい笑顔の二人の周りにはいつも子どもたちが集まっています。「余島が好き！」と離島の際には少し寂しそうに帰って来ました。二人ともお元気で！また余島で会いましょう！



多文化共生セミナー ねこのポーポキと 平和をつくりましょう

8月5日(火) JICA関西で「第11回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」の2日目、今年もポーポキが登場しました。平和について問いかける猫のポーポキの絵本を出発点に、一人ひとりが自分の五感や全身を使って、平和の意味を考えます。子どもから大人までいつもポーポキの温かさに包まれながら自分を表現する大切さを学びます。



日本語学科に 新入生を 迎えました

10月9日(木) 専門学校日本語学科の入学式がANAクラウンプラザホテルにて行われました。中国・台湾・韓国・インドネシア・ウクライナ・タイ・ネパール・ベトナム・ミャンマー・モンゴル・ロシアの11カ国から49名の新入生が入学しました。



高等学院に新入生を迎えました

それぞれの思いを胸にYMCAの門を叩かれました。これから始まる生活は期待と不安が入り混じったものだと思いますが、夢と希望をもって高校生活を送ることが出来るよう支えて参りたいと思います。



★★ 個人消息 ★★

- <お誕生> おめでとうございます
9月3日 小林功士兄(西神戸YMCA)「朔太郎」くん
- <採用> よろしくお祈りします。
9月1日 前田 祐理子さん (西宮YMCA保育園)
9月1日 中野江身子さん(西宮つとがわYMCA保育園)
10月1日 中西 雅子さん (西神戸YMCA保育園)
10月1日 高岡 恵理奈さん(西宮つとがわYMCA保育園)
- <退職> お疲れ様でした
8月31日 鎌田 佐和子さん (CSC職員)
8月31日 三村 祥子さん (西宮つとがわYMCA保育園)

YMCAセミナー

陣内大蔵チャーチコンサート ～いま、平和を求めて～

日時: 11月7日(金)
19:00～20:30(18:30会場)
場所: 日本基督教団神戸栄光教会
チケット: 一般1,000円、中高生500円
主催: 神戸キリスト教青年会
ミッション委員会
詳細はコチラ↓
www.kobeymca.org/news/pdf/20141107.pdf

世界YWCA・YMCA 合同祈禱週のご案内

2014年11月9日(日)～15日(土)
bold and transformative leadership
～変革をもたらす大胆なリーダーシップ～

世界YMCAと世界YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、共に祈りを守ってきました。この一週間は、YWCA・YMCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認するための一週間です。国内外で平和が脅かされ、社会的弱者を生み出す世の中で、どのように変革をしていけるのか。世界のつながりの中で祈り、神さまとの対話の中で、進む道を確認できればと願います。

詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.kobeymca.org/news/pdf/prayer2014.pdf>

第56回 神戸市民クリスマス

- 12月19日(金) 会場: 日本聖公会 神戸聖ミカエル教会
- I. キャロリング 教会や街角でクリスマスキャロルを歌い会場へ
<北野コース> 17:00 新神戸オリエンタルアベニュー集合 (1Fアベニュー広場)
<元町コース> 17:00 大丸神戸店前集合(元町側入口の北)
 - II. こどもプログラム 17:00～ バイオルガンの魅力、キャンドルアートなど
 - III. ほっとタイム 18:00～ 温かい飲み物とスナック など
 - IV. 祈りと祝福のとき 19:30～ クリスマスメッセージ・クリスマス曲の合唱など
 - V. 青年のつどい 20:30～ クリスマスパティー
- お問い合わせ 神戸市民クリスマス委員会 TEL078-241-7201 (神戸YMCA内)

街頭募金のお知らせ

神戸YMCA国際協力募金

「心を届けよう～みんなが笑顔になるために～」

すべての人々が、国・民族・宗教の違いを認め合い、平和に生き生きと暮らすことができる社会を創り出すための国際協力・地域奉仕活動に用いられます。街頭にて募金を呼びかける活動にご協力ください。

日時: 2014年12月14日(日) 14:00-16:00
(ご協力いただく時間は10分でも結構です)
場所: 神戸元町大丸前
集合・解散: 神戸元町大丸 北西 13:50集合 / 16:10解散

神戸YMCA新会館建築支援 チャリティコンサート

神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」と
ハンドベルDing Dong Ringersによる
チャリティコンサートです。

12月6日(土) 15:00～
神戸本町 風月堂ホール 入場料: ¥1,200
*お問合せ
神戸YMCAカレッジ 078-241-7203